

### 下水道 合併浄化槽の設置に補助金を交付

河川などの水質汚濁を防止し、良好な生活環境を確保するため、し尿だけでなく生活排水も処理できる合併浄化槽を設置した場合に補助金を交付します。

#### ▼補助対象者

- ・次の要件を満たし、対象区域内において合併浄化槽を設置する方
- ・申請者本人の専用住宅(自己居住用)であること
- ・店舗などと併用の場合は住宅として使用している床面積が1/2以上であること

#### ▼補助対象の浄化槽

- ・浄化槽法に基づく設置届の審査、または建築基準法に基づく確認を受けて設置される浄化槽
- ・単独浄化槽から合併浄化槽への切替工事であること(既設合併浄化槽の更新・改築は除く)

#### ▼補助対象区域

- ・公共下水道および農業集落排水区域以外の区域
- ・公共下水道および農業集落排水区域以外

区域内で7年以上の整備予定がない区域

#### ▼補助金額

設置工事費(宅内配管は除く)の4割(上限あり)

#### ▼申請方法

(市)下水道課または市ホームページにある申請用紙に必要事項を記入し、申請してください。詳しくは、問い合わせください。

#### 問・申込(市)下水道課 下水道管理係



▲ホームページはこちら

### 事業者向け 説明会 三木税務署からのお知らせ

## 消費税インボイス制度 説明会を開催

令和5年10月から導入される消費税の複数税率に対応するための納税申告制度「インボイス制度」についての事業者向け説明会を開催します。

▼申込方法 左表に記載の開催日の前日までに電話で申し込んでください。

#### ▶開催日時・会場

日時	場所
3月24日(木) 午前10時～正午	(公社)三木納税協会 2階会議室
3月24日(木) 午後2時～4時	
4月21日(木) 午前10時～正午	三木税務署 1階大会議室
5月18日(水) 午後2時～4時	

#### ▶住所

- ・三木税務署 末広1丁目9-10
- ・(公社)三木納税協会 末広2丁目5-75

問 三木税務署 法人課税部門 ☎82・0763



# 人権の目

214

## 性の多様性とジェンダー平等

うるわ総合法律事務所弁護士 仲岡 しゅん

近年の人権課題として、「性の多様性」や「LGBT」というテーマがよく取り上げられています。 「LGBT」というと、同性を恋愛対象とする人々やトランスジェンダー(性別を移行して生きる人々)を指す言葉です。そういった人々は、昔からこの社会にいたのですが、一昔前まで、その存在が社会的にあまり認知されておらず、日陰の存在かのように扱われてきました。このような様々な性のありかたを指して、「性の多様性」と表現することがあります。

ところが、LGBTと聞くと、なんだか一部の人たちの問題、と思ってしまうのでしょうか。自

分は同性愛者でもないし、トランスジェンダーでもない、だから自分には関係ない…と。しかし、決してそういうわけではありません。実は、そういった性の多様なあり方を尊重することは、一部の人がだけでなく、万人がより良い環境で生きるために重要なポイントでもあるのです。

ところで、近年、「ジェンダー平等」という言葉もよく聞くようになりました。これは、いわゆる男女平等に相当する言葉なのですが、この社会にある男女間での様々な格差を是正していこうという考え方です。確かにこの社会には、男女での格差がまだまだあります。例えば分かりやすいところでは、管理職の男女比です。男女全体の人口比としては、だいたい半分ずつくらいですが、

大抵の職種では管理職になると女性の割合は非常に低くなってしまいます。あるいは、家事や子育てをするのは女性の役割とす残っていますし、男女の所得格差も依然として大きいです。またその裏返しとして、男性もまた望まない生き方を強いられることもあります。

さて、先ほど私は、性の多様なありかたを尊重することは、万人にとって重要なことであると言いました。これはどういうことでしょうか。

ここで、LGBT(とりわけトランスジェンダー)の人々が生きにくい要因の一つとされている、学校などでの男女分けの制服の問題を考えてみましょう。近年はそういった人々に配慮してズボンとスカートが選べるように

なった、というニュースを時々聞きます。しかし、よく考えてみれば、LGBTかどうかという問題以前に、女性がスカートを選ばなければならぬという合理的な理由はありませぬし、その逆もまた然りです。この問題は、本来、むしろ男女での偏見を是正すべきという問題なのですね。

そのような観点から見ると、性の多様性の尊重というのは、LGBTという一部の人々に限らず、突き詰めればその人の性別がどうあれ、その個人の人生の選択が尊重されているか、という問題であることが分かるのではないのでしょうか。そしてそれは、この社会の中で劣位に置かれやすい女性の選肢の保障や男女間の格差是正というテーマとも大きくかかわってくるのです。

近年よく話題になる「性の多様性」の尊重と、「ジェンダー平等」とは、実はめざすところはとてもよく似ているのです。

個人的に皆さんに知ってもらいたいイベントや催し物・PR・報告に。会社の商品案内・営業案内・PRにご利用下さい。

「広報みき」の広告を募集しています

2色刷り(黒+緑)	縦42mm×横174mm	22,000円
	縦42mm×横84mm	12,000円
4色刷り(カラー)	縦42mm×横174mm	33,000円
	縦42mm×横84mm	18,000円

お問い合わせは 竹内印刷(株) ☎0794-63-6300 まで

兵庫県小野市王子町669-1

読み終わったら郷里を遠く離れたご家族、お知り合いの方にも送ってあげてください。大変喜ばれます!!

お申込みいただく前に、必ず「広報みき広告掲載基準」の内容をご確認ください。詳しくは三木市秘書広報課のホームページをご覧ください。

Takeuchi Printing 竹内印刷株式会社

兵庫県小野市王子町669-1  
TEL(0794)63-6300(代)  
FAX(0794)63-5234  
E-mail:tpprint@takeuchi-pc.co.jp